

陳情 第64号

受付 平成30年 5月30日

付託 平成30年 6月 7日

市長が保護者の要請にこたえることを求める陳情

・陳情趣旨

平成30年3月24日、藤代南中学校平成27年度第3学年保護者会が開かれました。

平成28年3月8日に行われた保護者会から実に2年が経過していました。

これは再三にわたり要請されていたにも関わらず、今まで教育委員会は応じていません。言葉では遺族に寄り添うと何度も繰り返していますが、実際はなんら誠意ある対応を示していません。保護者会では事件当時の当事者の出席が求められていましたが、この件についても教育委員会は誠実な対応とは言い難いものでした。

医師の診断書では出席不可能ということでした。しかし保護者に対しては、いかにも出席を求めているかのような態度をとっています。これは時間の引き延ばしとしか思えません。

イジメによる重大事態を否定していた市教育委員会が、文科省の指導後一転して重大事態との考えに変更したこと、市の第三者による調査委員会の理由なき解散など市教育委員会の迷走は保護者と調査委員双方から不信の念を持たれたものと思います。

信頼を喪失しただけで結論を引き延ばそうとしている教育委員会では、もはや保護者と主体的に対応できるものではありません。

事件当時の当事者で現職にあるのは市長のみです。事件の最終責任者は市長にあります。

この保護者会については教育委員会から市長が引き取り、自らの責任として対処することを求めます。

・陳情事項

1. 市長は遺族、保護者の要請を正確に受け止め、保護者会を早急に行うこと。
2. 保護者会は教育総合会議（議長=市長）が主催すること。
3. 当時の教育長・教育部長は交代しているがこの事件の引継ぎ内容を明らかにすること。
4. 市長は現在の教育長にこの事件についてどのような指示をしたのか明らかにすること。

平成30年5月30日

陳情者代表

住所 取手市宮和田 985-19

氏名 斉藤 たかし

取手市議会議長 殿